「学級経営」研修講座　演習の流れ

|  |  |
| --- | --- |
| Key Word | 学級経営の中間評価 |

|  |  |
| --- | --- |
| 研修名 | 「学級経営」  ＰＤＣＡマネジメントサイクルを踏まえた学級経営の在り方 |
| 対象 | 若手教員 |
| 用途など | ・比較的、若手の多い学校において、前期末（９月ごろ）のミニ研修や学級経営交流会で活用する。  ・現段階での課題を交流し、後期の具体策を明確にする。 |
| 備　考 | 持ち物：学級経営案や学級の実態がわかる資料 |
| 時　間 | 内　　　容　・　留　意　点 |
| 15分 | ＰＤＣＡマネジメントサイクルを踏まえて、半年間の児童生徒の変容を交流し、今後に向けての具体策を自己決定する。  １　学級の児童生徒の様子から、課題があると感じられること、一層の成長を期待したいことについて、赤い付箋に書き出す。（３分）  ※時間が限られている場合は、初任者や若手のみが赤い付箋を書いてもよい。  ２　各グループで、赤い付箋に書いた内容を交流する。（４分）  ※グループの人数は、４人程度が望ましい。  ３　２で出された課題に対する具体策を、青い付箋に書き出す。（３分）  ※時間が限られている場合は、課題を１つにしぼって改善策を考えてもよい。  ４　各グループで、青い付箋に書いた内容を交流する。（４分）  ５　青い付箋の中から、後期に取り組みたい具体策を決め、学級経営案を修正する。（１分） |

（作成機関：網走地方教育研修センター）